

小水力発電の普及へ

市など設置で3者協定締結

津山市は4日、自然エネルギー事業のエリス（岡山市南区福田）、JAつやま（津山市横山）と、JAの桑谷発電所（加茂町黒木）の放水路にエリスが新設する小水力発電所に関する協定を結んだ。



協定書に署名する（左から）桑原社長、宮地市長、最上組合長

売つばめガス（岡山市南区福田）のグループ会社で2001年新設する発電所は災害で農業用水路を利用しているという。桑原社長は「自給自足のエネルギー社会実現に向けたモデル事業になれば」と話している。（小林貴之）

市役所で締結式があり、宮地昭範市長とエリスの桑原順社長、JAつやまの最上忠組合長が協定書に署名。宮地市長は「低炭素都市の実現に向けて、水源の豊富な津山で小水力発電は大いに期待される。今後の新たな普及に期待したい」と述べた。

協定では、エリスは築50年で昨年10月から更新工事が行われてい

る桑谷発電所の放水路の約40%下流に、一般家庭4、5世帯の1力分の電力に相当する出力2キロワットのマイクロ水力発電設備を7月末までに設ける。着工時普及に努める。

エリスはLPガス販